

内戦や災害の犠牲者

# 宗教の枠を超え鎮魂

## AMD A事業 総会で意見交換

内戦や災害などで亡くなった人々へ、宗教の枠を超えて鎮魂の思いを届けようという国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市櫛津）の事業「医療と魂のプログラム（ASMP）」の総会が二十九日、同本部で開かれ、これまでの活動報告や意見交換を行った。

ASMPは二〇〇〇年に開始。昨年十二月にインドネシア・スマトラ沖

地震被災者のために三カ国で合同慰霊祭を開くなど、延べ二十五カ国で慰霊祭を行っている。

総会には仏教、キリスト教、黒住教、金光教などの代表ら国内外から約二十人が出席。冒頭、紛争などで亡くなった人々へ祈りをささげた。

菅波茂代表が「プログラムにより、AMD Aと現地の人々のきずなが深

まっている」とあいさつ。

グループの一つAMD Aインターナショナル名誉顧問でフィリピン人のプリミティボ・D・チュアさんが「失われた命に対する追悼など人道支援を進め、国際協力の輪を広げよう」と話した。

会議では、慰霊祭などを行った現地での活動として、インドで進められている診療所建設や奨学



宗教の枠を超えて開かれたAMD Aの「医療と魂のプログラム」総会

金制度の創設の報告、今後の協力態勢などについての意見交換などが行われた。（斎藤章一朗）